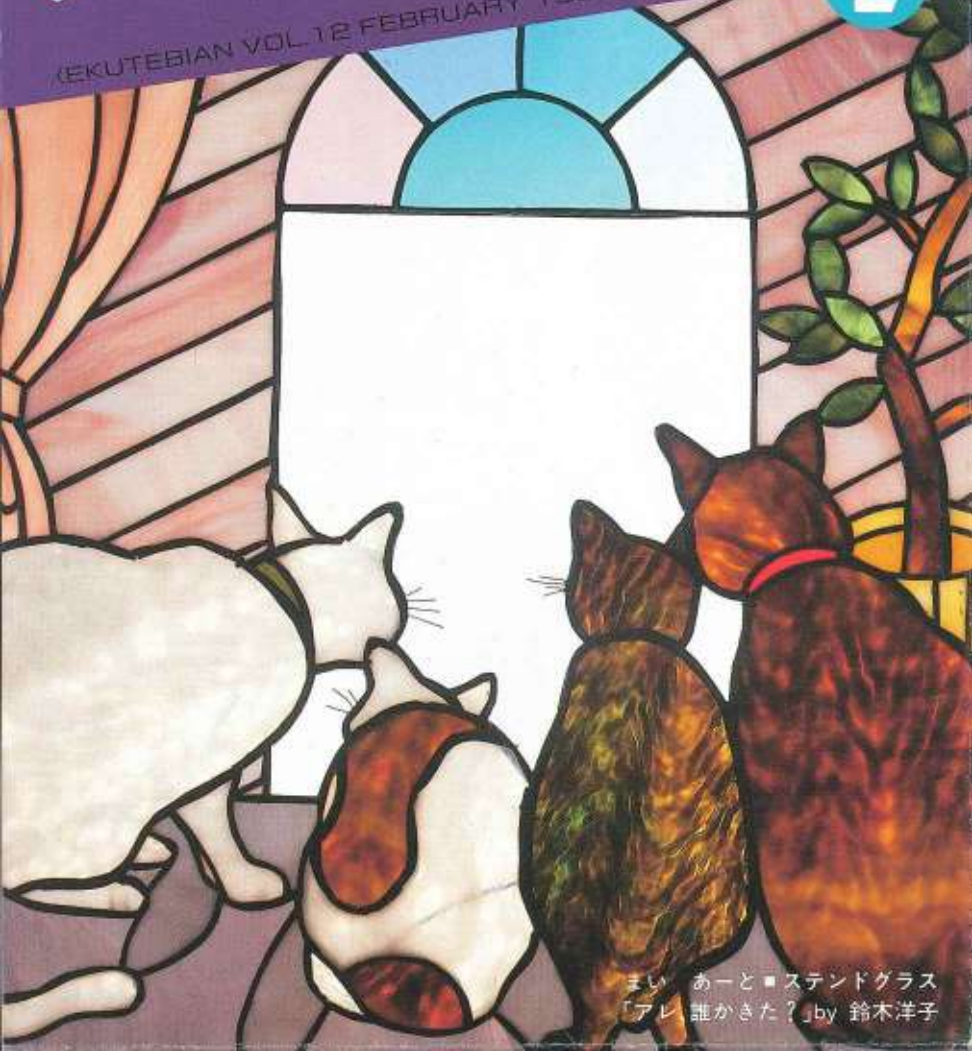
月刊
立川と語ろう　立川に生きよう
えくてびあん
2
〈EKUTEBIAN VOL.12 FEBRUARY 1994 EKUTEBIAN〉
まい　あーと■ステンドグラス
「アレ　誰かきた？」by 鈴木洋子

矢澤雅夫の"ビーフと野菜のワインソース・スパゲティ"

立川で、スパゲティと言えば『はしや』。そのスパゲティの名門『はしや』(渋谷区代々木)の分店が、フロム中武(曙町2丁目)の4Fに開店して10年になる。店長の矢澤雅夫さんはスパゲティにこだわり続けて17年。その情熱が『はしや』伝統の味を汲みながらも、矢澤さん独自の豊富なメニューに現れている。それもワインソース系・ホワイトソース系・醤油系・サラダ系と系統立てられているのが特徴だ。いつも行列が絶えない人気の秘密はここにもある。昨年は、ローマからベネチアまで、ひたすらにスパゲティ研究の旅をした。今回紹介するのは、ビーフと野菜をワインソースで煮込み、茹で立てのスパゲティにのせたもの。イタリア旅行後、メニューに加えた逸品である。

撮影：井上義治

上がれ！上がれ！立川丸！

高松町会館での子供たちの凧作り教室から始まった名取欣一さん(高松町)の凧作り。「細い針に糸を通す、これ、ボケ防止ね」なんて言っていたのが、海軍の技師として空母『信濃』の排水量計算を担当していた頃に戻るようだったと風の航海に挑戦。本物の帆船の縮小版を作り上げてしまった。帆の長さから船体の深さ・傾斜まで綿密に力学計算をした立川丸。毎晩2時間がかりで半年かかって完成。「これで一発で上がったらよっぽどの天才だな」と照れながら準備に入った名取さんだが、風が出て来たら、いささか興奮ぎみ。家族も社員も見守る中、もしやと思った瞬間、上がった！処女航海で悠々大空へ。

"ツル"の鳥凧から、義恒の合戦の凧。金太郎のダイヤ凧。年号が変わった記念に作った平成凧。空に舞うと豪快だ。
撮影：枝川一巳

町	店名	住所	電話
一番町	三菱石油 天王橋ステーション	一番町1-61-6	☎31-2135
羽衣町	和風レストラン 蔦屋	羽衣町2-27-14	☎26-3698
羽衣町	珈琲屋 らうむ	羽衣町2-27-9	☎26-3643
羽衣町	立川商店	羽衣町2-30	☎22-3565
羽衣町	泰明堂	羽衣町2-31-1	☎22-3353
羽衣町	文具の ないとう	羽衣町2-33-1	☎22-3677
羽衣町	洋菓子サロン ケーキスタジオ35	羽衣町2-6-1	☎27-6808
羽衣町	おそのい時計店	羽衣町2-32-2	☎22-5211
栄町	多摩中央信用金庫 栄町支店	栄町2-66-1	☎36-9711
栄町	手打ちそば 信更	栄町5-12-1	☎37-0991
栄町	相模屋酒店	栄町5-61-8	☎36-2476
栄町	森田接骨院	栄町6-25	☎35-6240
錦町	高木健康回復センター	錦町1-6-21	☎21-0289
錦町	和菓子処 ゆうき	錦町1-8-5	☎25-0780
錦町	むぎばたけ	錦町2-1-1	☎26-0210
錦町	池田屋商店	錦町2-1-10	☎22-3731
錦町	寿屋酒店	錦町2-1-13	☎22-3625
錦町	三田花店	錦町2-5-23	☎24-4187
錦町	立川市市民会館	錦町3-3-20	☎26-1311
幸町	ロッテリア 立川砂川9番店	幸町4-38	☎37-4413
幸町	たちばな	幸町6-1-12	☎37-0347
高松町	自然食 ぱれあな	高松町1-23	☎24-4560
高松町	多摩画材	高松町2-1-25	☎22-6031
高松町	洋菓子 マリアン	高松町2-10-22	☎24-3912
高松町	山梨中央銀行 立川支店	高松町2-16-13	☎26-1571
高松町	宝泉菓子店	高松町2-27-3	☎26-1736
高松町	丸助青果店	高松町2-4-18	☎22-3542
高松町	肉の専門店 伊勢屋	高松町2-6-20	☎24-2734
柴崎町	くりや	柴崎町2-9-3	☎23-2590
柴崎町	ビジネスホテル クボタ	柴崎町2-12-23	☎22-1122
柴崎町	いなげや 立川南口店	柴崎町2-12-24	☎26-2947
柴崎町	白洋舎 立川園店チェーン店	柴崎町2-17-5	☎25-0036
柴崎町	モリタニ漢方薬局	柴崎町2-2-10	☎25-1193
柴崎町	有関田酒店	柴崎町2-2-17	☎24-2960
柴崎町	割烹 笹乃雪	柴崎町2-2-9	☎28-2144
柴崎町	ユウ都市企画	柴崎町2-3-13	☎28-2566
柴崎町	ラ・バンバ	柴崎町2-3-3	☎24-5800
柴崎町	LIQUR SHOP はなむら	柴崎町2-3-9	☎22-2491
柴崎町	オーロール焼きたて 立川店	柴崎町2-4-15	☎27-9473
柴崎町	北京大飯店	柴崎町2-4-19	☎22-6393
柴崎町	ななや	柴崎町2-4-22	☎25-6980
柴崎町	リッサ	柴崎町2-4-9	☎21-1978

立川トピックス

七草粥は立川産で

立川山草会（鈴木功会長）では、毎年、七草粥を食べて、今年で八年目になる。一月九日（日）のこの日は、滝ノ上会館で、せり、なずな、ごぎょう、はこべ、ほとけのざ、すずな、すずしろの七種にこれをプラスした。大根以外、全て鈴木功さん（富士見町）宅の庭で採れたもの。立川で七草の全てが揃うということだった。篭盛りには南天の葉が一つ一つ置かれ、心尽くしが七草の色合いを染めていた。最後に抽選で、ツボサンゴなど、全員にプレゼントされ、心あたたまる会は終わった。百一才の金子広主さんも、元気にやってきた。

立川がますます「劇的」に

一月十三日（木）から十六日（日）の四日間、アミュー立川で第2回たちかわ演劇祭「夢みる春の演劇祭」が立川市地域文化振興財団の主催で開催された。募集劇団多数のため、春、冬と分けてきたが、今回も立見が出る盛況ぶり。この立川の街を熱い演劇の街に、そして、多摩地区の演劇青年をあたたかく、応援したいという企画で始まったものだそうだ。その根は、回数を増す毎に深く定着してきたようだ。一般公募の中から「たちかわ演劇祭」のイメージキャラクターも決まり、ますます劇的になってきた。

真如苑だより

新年も早、一ヶ月がすぎ、もうすぐ立春。その前日、節分の豆まきで響いた子供たちの元気な声に目を覚ました春の陽ざしが、心を明るくする二月です。

梅の便りが届くころ、暖かさに誘われたなら、真如苑にお出かけになりませんか。

今月も皆さまのお越しをお待ちいたしております。お誘いあわせてどうぞ。

■日時　2月14日(月)　3時〜5時●

■御本尊、真如宝物館をはじめとして映画など盛りだくさんの用意がしてございます。

■お申し込みは「えくてびあん・コンパニオン」（本誌を手渡してくれた人）へ。

青い背広で来ればいい

どうして、この街には、こんなに、いっぱい、面白くて楽しい人がいるのでしょうか？

ベスト立川人展のオープニングパーティーには、今年の立川人展登場の方々が過去8年間のOBたちに迎えられた。

ファッションデザイナーの森淑さんは、鎌倉に引っ越してもなお、立川の愛着やみがたく、このパーティーに毎年やってくる。

今や、ベルリンの首席クラリネット奏者の四戸世紀さんのお母さんは、世界の世紀と言われてもなお、故郷立川のこのパーティーにやってくる。

ミス立川 石橋和子さんと準ミスの野本薫子さん

好評だったディスプレイをデザインしてくれた小塚秀忠さん

パワーリフティング全日本代表となった清水賢二さん

開会は谷り水車さんの挨拶で

宮沢賢治の朗読ならこの人、大多和勇さん

百人一首 全国チャンピオンに輝いた丸井美奈子ちゃん

語りの世界を披露してくれた向田敬子さん

ユニークな解説で盛り上げる昭和一高、志鎌敏英先生

閉会は三田鶴吉さんの挨拶で

ことわざ問答 47

漢字一字挿入せよ

□一代に　狸一匹

痩馬の　□急ぎ

ハッケヨイ、残った！

立川相撲連盟理事長　佐川秀夫

杉並から立川に居を移したのは昭和43年3月で、長男が小学校4年生になる時である。時の移ろいは文字どおり矢のようで、既に26年の歳月を経てすっかり立川人になりきってしまった感がある。そして、今になってつくずく思うことは、運命という奇怪な糸が織りなす綾の不思議さである。まさに立川に転居したことによって私の運命を大きく変えたものは人との出会いであり、相撲との関与である。

もともと、私は学生時代から社会人を通して相撲とは全く縁のない生活を送ってきたが長男が小、中、高校と相撲をすることによって父親である私もこの道に携わることになったというのが真相である。

妻は小学校に勤めており、言うなれば共働きの家庭であった。従って子供の面倒を見るお婆さんを頼んだのであるが、このお婆さんが無類の相撲好きで国技館で大相撲が始まるとテレビを見ながら子守をしていたようである。当然子供も膝に乗って一緒に見ることになり、そのうち自然に子供ながらに相撲を覚え自分でも見よう見まねで取るようになった。そして、小学一年になる頃には私が勤めから帰るとほとんど毎日のように紙に勝敗を記録して十五番相手をさせられた。子供心にも勝ち越さないと機嫌が悪く、大体七勝八敗で父親が負けるのが慣習となった。相撲の力もさることながら体のほうも牛乳を沢山飲んだせいか洋服がはち切れんばかりに太り、「皆が僕のことをマンモスでぶと言うんだよ」と言う位に成長した。そして、近所の年上の子供を相手に相撲をしては勝って喜んでいた。

こうなると、どうしても大会に出たくなるのは当然である。ところが現在でも同じだが杉並辺りでは相撲大会はやっていない。ちょうどその頃である。立川に越すことになった。妻はどこからか立川は相撲が盛んな所でどこかで大会をやっていることを聞き込んできた。

これからが私の出番である。教育委員会、地区体育会と電話を掛けまくり、遂に市民相撲大会の存在と参加要領を知ったのである。小学四年で初めて出場した市民大会で優勝、ますます相撲に対する情熱を高めた。当時は現在と比較して少年の相撲大会は極端に少なかったが私は参加できる大会はすべて子供を連れて参加した。

中学に進学すると同時に第一回の全国中学校相撲選手権大会が開催された。第二回大会から立川四中も都の予選に出場して優勝し、全国大会に駒を進めたが残念ながら予選落ち。第三回大会も続いて都代表となり、当時の阿部市長も応援に駆けつけてくれ、団体はベスト十六、個人では息子が第三位になった。

高校は自ら相撲部の強い学校を選び、三年間の高校生活をすべて相撲に打ち込んだ。高校生になると子供達が嫌がるので大会には親は付いて行かないが、私だけはほとんどの大会に付いて行った。小さい頃からの慣れで親が付いていくことに全然抵抗を感じなかったようだ。高校でも、全国選抜大会で二年連続二位になるなど、そこその成績を残したので大学でも当然相撲を続けるものとばかり思っていたところ、進学の段になって突然、相撲を辞めると言い出した。私も妻も驚き、なんとか継続させようといろいろな手段を使って説得に努めたが、何としても辞めると言って聞かず、部活のできない工学部に進学してしまった。高校生活三年間で相撲に対する情熱が燃え尽きたのかも知れない。

相撲の楽しみを奪われた私の落胆はかなり大きく、ここから本格的に立川、東京及び日本相撲連盟を通じての少年相撲の普及、育成に情熱を傾けることになる。

小学生にとって「わんぱく相撲全国大会」と「全国少年親善相撲立川大会」に出場することが一つの目標であり、ここで横綱になることが最高の栄誉である。立川からは数名のわんぱく横綱、中学横綱、高校横綱、アマチュア横綱を排出している。いづれも小学生低学年から錬成館に通い稽古に励んだ成果である。

私はこれからも子供達の成長を見守りながら相撲を楽しんで行きたいと思う。これからが私のハッケヨイ、残った！である。

えくてびあんの輪

人がゐて、街があります。
あなたがゐて、立川があります。
そこにちょっとだけ、えくてびあん！
リストのお店にはいつでも えくてびあん！

町	店名	住所	電話
柴崎町	田中星美堂薬局	柴崎町2-5-3	☎22-3913
柴崎町	菊川園	柴崎町2-5-6	☎26-2035
柴崎町	café コロラド	柴崎町2-5-8	☎26-2285
柴崎町	スタジオ269	柴崎町2-8	☎27-0269
柴崎町	東陶房	柴崎町2-9	☎25-0079
柴崎町	ロッテリア 立川南口店	柴崎町3-1-3	☎22-3928
柴崎町	笠井紙店	柴崎町3-13-24	☎22-8601
柴崎町	矢沢歯科	柴崎町3-16-2	☎25-6600
柴崎町	割烹 紀ノ川	柴崎町3-4-3	☎25-5825
柴崎町	ラ・フィネ	柴崎町3-5-2	☎25-2179
柴崎町	ヨシダ貴金属店	柴崎町3-5-4	☎22-2448
柴崎町	東京相和銀行 立川支店	柴崎町3-6-17	☎22-2171
柴崎町	オリオン書房	柴崎町3-6-27	☎25-3111
柴崎町	あさひ銀行 立川支店	柴崎町3-6-29	☎22-4161
柴崎町	イスパニスタ	柴崎町3-6-3	☎22-2969
柴崎町	入船寿司	柴崎町3-6-32	☎22-2474
柴崎町	サンカメラ	柴崎町3-7-22	☎22-3336
柴崎町	ラーメン竜馬	柴崎町3-8-2	☎27-7575
柴崎町	東京都民銀行 立川支店	柴崎町3-9-21	☎22-7107
若葉町	美容室 リラ	若葉町1-11-1	☎36-3048
若葉町	みふじサイクル	若葉町1-12-4	☎36-7166
若葉町	紀ノ国屋 立川店	若葉町1-13-2	☎36-1604
若葉町	ボングー	若葉町1-8-8	☎35-5551
曙町	大晋商事	曙町1-23-9	☎25-3110
曙町	オリオン書房 ルミネ立川店	曙町2-1-1	☎27-2311
曙町	ビューティータナカ ルミネ立川駅ビル店	曙町2-1-1	☎27-6917
曙町	八王子赤十字血液センター 立川出張所	曙町2-1-1	☎27-1140
曙町	朝日カルチャーセンター 立川	曙町2-1-1	☎27-6511
曙町	ロッテリア 立川ルミネ店	曙町2-1-1	☎24-7433
曙町	松下珠算塾	曙町3-33	☎25-1671
曙町	トリッププラザ	曙町2-12-1	☎26-3232
曙町	ケンタッキーフライドチキン 立川支店	曙町2-12-16	☎28-2636
曙町	伊勢丹 立川店 受付	曙町2-12-2	☎25-1111
曙町	三菱銀行 立川支店	曙町2-13-3	☎24-4121
曙町	トポス 立川店	曙町2-18-18	☎25-0331
曙町	オリオン書房 第一デパート店	曙町2-2-25	☎23-3311
曙町	印章の 宝山堂	曙町2-4	☎25-0111
曙町	アルビヨン	曙町2-4-28	☎25-3824
曙町	お菓子の家 エミリーフローゲ	曙町2-4-28	☎27-4138
曙町	アンキャフェ・エミリー・フローゲ	曙町2-4-30	☎26-1818
曙町	クリムト	曙町2-4-30	☎26-3030
曙町	第一勧業銀行 立川支店	曙町2-4-30	☎22-5151
曙町	シェ・タスケ	曙町2-5-14	☎27-5959
曙町	さくら銀行 立川支店	曙町2-6-11	☎22-2151
曙町	サヴィニ	曙町2-7-10	☎25-1662

ことわざ問答　答

大一代に　狸一匹

優れた猟犬でも狸ほどの大きな獲物は一生に一度ぐらい。絶好のチャンスはそうない。

痩馬の　道急ぎ

力のない者にかぎって、いたずらに功を急ぐこと。先走りをしてしまうこと。

表紙は語る

まい あーと　ステンドグラス「アレ、誰かきた？」by 鈴木洋子

鈴木洋子さんは、ステンドグラスの店「ばさーじゅ」（フロム中武4階）が行っているステンドグラス教室『木星会』のメンバー。かつて見たステンドグラスの美しさが忘れられずに4年前からこの教室に通い始めた。今回鈴木さんがモチーフにしたのは、家族で可愛がる4匹の猫。何気ない中にも時折見せる微笑ましい姿を息子さんがカメラに収め、この写真をもとに講師の伊藤まみさんの指導で、数カ月かけて完成。凹凸の面を持つ特殊なガラスを上手に使い、あたたかく、独特の柔らかさが感じられる作品に仕上がった。「素晴しい先生に巡りあえて、作ることが愉しくて仕方ありません」と笑顔で語る鈴木さん。親子ほどに年上の生徒さん達に囲まれた伊藤さんも「ステンドグラスは、たくさんの可能性を持った一つの芸術スタイル。もっと多くの人に魅力を伝えていきたい」と[illegible]で初めて作品として完成するというステンドグラス。明るい笑い声に満ちたこの教室で学ぶ鈴木さんの目は、笑顔の中にもその光の大切さをしっかりと見つめていた。

東風

「ベスト立川人・展」を準備している間にも、随分、長く続きますねえ、もう何回目になるんですかと訊かれることが多かった。今年で9回目になります、と答えながら当方が歳月の流れに驚いている。そして指折り数えれば、『月刊えくてびあん』が創刊されて今年の8月号で十年になる。遙ばると来たものだなどと感傷にふけっている場合ではない。記念事業とどう取組むか、十周年記念号の企画をどうしたらよいか、編集部は新年から嬉しい悲鳴をあげている◆本誌の創刊と、いわゆるタウン誌の存在に光があたった時期が重なったことは、真に幸運であった。特にNTTの呼びかけで「全国タウン誌ガイド」が年度ごとに刊行され「タウン誌フェスティバル」も恒例の行事になっている。当編集部に企業やTV局、新聞社から立川情報の問合せが多いのも、そうした機運に乗ってのことで、自らの力でないこと勿論である◆ときどき、こんな夢みたいなことを考えてみる。ある立川人が都心の会社に勤務していたとしよう。昼休みに話がたまたま自分が住んでいる街のタウン誌におよんだ時に、かの立川人が「えくてびあん」を自慢してくれたら嬉しいなあ、と思う。立川には「えくてびあん」があるんだ、と胸を張ってもらえたら◆なにはともあれ、一里塚の十周年に全力を尽くそう◆二月はや裸の木々に えくてびあん●

月刊えくてびあん　第115号
平成六年二月一日発行
発行所　えくてびあん編集工房
東京都立川市曙町2-17-5
杉田ビル6F　〒190
電話　〇四二五（28）0082
FAX　〇四二五（28）1297
編集発行人　立井啓介
印刷所　耕大廣社
（編集）池田隆男　小林康史　隅川理　名尾昌真　中村絵里　岩井正弘　町田健一　山田恵子
（写真）天野武男　板橋一明　井上泰治　スタジオ269　桂川一巳　五来孝平

立川クイズ

立川駅前の再開発も急ピッチで進んでいます。大きく変貌を遂げつつあるわが街も、今年の秋には北口に新しい立川の顔が誕生します。立川人・展では毎年、立川のすばらしい人々を紹介していますが今月の立川クイズは、立川が誇るナンバーワンはどれかが問題です。前回は、立川の日本一を取り上げましたが、今回は三多摩の中での一番です。では、次のうち、立川が三多摩で一番のものはどれでしょう。

①立川市の市税徴収率
②立川通りの混雑度
③立川市内の駐車違反検挙率

【1月号の答】❶

立川諏訪神社の獅子舞に使用される獅子頭は古くから伝承されているもので、多摩の獅子舞に多い鹿を象ったものではありません。また、舞の特長も、天狗と共に境内の土俵の上で舞うもので、谷保の天満宮の獅子舞と共通点が非常に多いのも興味がわきます。

五来孝平の

AT PARKS・・・・

心地よい風。木漏れ日。子供
の遊び声。今年は公園と話

第2回　多摩川緑道

自転車を止めて、夕日を見ていた親子。籠の中には、晩ご飯のおかずが入っているのだろうか。冬の柔らかな日差しは北風に弾かれて、きらきら光った。

近頃出来た残堀遊歩橋

なんと！多摩川に白鳥が一羽

息をはずませて遊ぶ子供たち

トライアルのチームが岩場で練習をしていた

フライング・ドッグに励む姿も